

兵庫県資源循環推進計画策定に向けた主なご意見

番号	ご意見	方向性		
		修正等の内容	頁	対応箇所
1	個別施策がなぜ出てきたか、それをどうするのかという指標もない。取組と指標が繋がっていない、計画全体のストーリーがないと県民へ伝わらないのではないか。	「なぜ、どのように」というストーリーについて、兵庫県独自の取組は本文に詳細を記載しました。本計画は県民の生活様式、行動や事業活動のあり方を見直し、県民主体で取り組んでいくことを記載します。	p1	本文 1-1-1
2	概要 p. 2 目指す社会（長期：2050年ごろ） 【循環経済への移行】循環を考慮したライフスタイルへの改革 のところ 「リデュースを最重要課題とし」を入れた方がよい。	リデュースは3Rに含まれます。 第2章第1節3「(1) 循環経済への移行」に追記しました。	p. 6	本文 2-1-3
3	p. 8に以下を追記 ・プラスチック資源循環促進法に基づき、特定プラスチック使用製品である12品目について、特に排出抑制に努める。 (本編のp. 9あたりでもよい。12品目の排出抑制については、県の新しいライフスタイル委員会でも進めることになっていたと思う。)	第2章第3節1「(1) 資源・エネルギー消費の抑制、3R+リニューアブル」 「① ライフサイクルの各段階での取組」に追記しました。	p. 8	本文 2-3-1
4	焼却して埋立という方法は、現状ではうまくいっているが、結局持続可能ではないので、焼却システムのもう一歩先をどうするのか。	第2章第3節2「(2) 循環経済、カーボンニュートラルに資する廃棄物処理・資源循環システム」の①に追記しました。	p. 9	本文 2-3-2

5	<p>文言の順番入れ替えが必要ではないか</p>	<p>「・現在あるバイオマス活用や堆肥化等をはじめ、焼却だけに頼らない地域特性に応じた社会システムを拡大、開発する。 ・CCUS、メタネーション、プラスチックからの水素製造等の技術、さらには革新的な資源循環技術等の開発の動向把握に努め、可能なものから導入することで、温暖化対策にも寄与するシステムの構築を目指す。」と修正しました。</p>	p. 9	本文 2-3-2
6	<p>プラスチック問題については、問題の起因は海洋プラスチック、マイクロプラスチックにあったと思うが、ここに対する言及がない。これを今後、明確にしていくべき。海洋プラスチックについては、プラスチックの不法投棄に起因すると思うので、それに対する対策を強化すべき。</p>	<p>問題の起因について、第3章第1節1「(1) プラスチック対策を進める背景」に追記しました。 不法投棄対策に関連して、第3章第1節2「(6) プラスチック使用削減・資源循環に係る施策の項目と各主体の役割分担」に「不法投棄、ポイ捨て防止」を追記しました。 また、第4章第3節2「(3) 不法投棄対策の推進」に「⑤ ポイ捨て防止対策」を追記しました。</p>	p. 12 p. 18 p. 53, 71	本文 3-1-1、2 本文 4-3-2
7	<p>p15「「循環経済工程表」を踏まえ、プラスチックについては、カーボンニュートラルに寄与する資源循環を目指す。」の意味が分からない。何をどのようにするのか。</p>	<p>第3章第1節2「(3) プラスチック使用削減・資源循環の方向性」の「① 長期的な方向性(2050年)」に追記しました。</p>	p. 15	本文 3-1-2
8	<p>全体的な話であるが、フードロスに繋がる「てまえどり」や値引き等、食ロス削減を誘導する施策が必要である。実際に業者がどのような取組をしたらいいのかという指導体制が必要だと思う。そういうことをアドバイスする指導センターや拠点みたいな組織を作るなど必要ではないか。</p>	<p>いただいたご意見については、庁内の関係課で構成する「食品ロス削減に関する関係課会議」で引き続き検討してまいります。</p>	p22	本文 3-2-1

9	概要 p. 3 の「食品ロス削減対策の推進」の「今後の方向性」のところに以下を入れる。 ・DXを利用した食品と消費者のマッチングによる食品ロス削減 本文 p.55 コラム3 で姫路の「utteko katteko by タベスケ」が紹介されているが、このような方法が全国展開となりつつあるので、県として紹介・推進した方がよい。	第3章第2節3「(1) 求められる行動と役割(主なもの)」で追記しました。 先進事例の調査を行い、県として市町の支援等を検討します。	概要p. 3 p. 23	概要Ⅲ 本文3-2-3
10	集団回収や拠点回収等、住民が関与する回収方法を活用するよう改めて見直していくべき	「市町は集団回収や店頭回収、拠点回収といった住民が分別へ協力できる機会を拡大し、時代に合った資源物の回収方法を展開していく必要がある。」を追記しました。	p48	本文4-1-3
11	本文 p. 56 マイボトル利用促進のところ 「マイボトルを普及させるため、民間企業と連携し駅や公共施設等にウォーターサーバーの・・・」で「公共施設等」の前に「駅や」を入れる。	第4章第3節1「(1) リデュース(発生抑制)、リユース(再使用)の推進」の⑤でご意見を踏まえ、「駅や県庁舎など」を追記しました。	p. 56	本文4-3-1
12	新規事業として、マイボトル・マイ容器の推進が挙げられている。 しかし、「マイ」である必要があるのか?必ずしも「マイ(それぞれの個人)」ではなくても、共有するカップや、共有する容器でもいいのだと思う。計画の途中には、もう少し違う表現の仕方はないか。 コロナで人々の関係が希薄になってしまい、さらに、子どもたちが「マイボトル」や「マイ容器」のみの使用に走るの、良いことではないように思う。「使い捨てでない容器」というような表現はできないか。	「マイ」以外の取組として、繰り返し使える「共用」の例として、イベント時のリユース食器の利用事例をコラムで記載しました。	p. 56	本文4-3-1
13	不法投棄対策の推進として、不法投棄されるような品目の使用抑制について言及すべき	①排出事業者、処理業者に対する適正処理指導、③適正処理が困難な廃棄物への対応強化【拡充】の箇所に各主体へ求める内容を追記しました。	p63	本文4-3-2
14	電子マニフェストの普及促進に何か策はないのですか。	第4章第3節2「(1) 適正処理対策の推進」の②に追記しました。	p. 63	本文4-3-2

15	ごみ処理の広域化は、重要だとは思いますが、処理地域の一体感を維持するような策が必要かと思う。 人口減少時代に向けて、地域の協働を県が補助するようなボトムアップの共同処理が重要なのではないかと。	第4章第3節2「(2) 適正処理体制の整備」の①「3) ごみ処理の広域化に向けた方向性」に追記しました。	p. 68	本文4-3-2
16	P72~75 ①【拡充】、②【新規】、③【拡充】、④【新規】とあるが、⑤については前計画においても同じ抽象的な表記だったか。また、その内容の更新はないのか。時代の変化にあわせて地域の環境への意識変化が求められているので、⑤についても具体的な更新計画が必要。	第4章第3節3「各主体の連携、行動変容、人材育成等の推進」について、状況の変化を踏まえ、前計画から記載を更新しました。 コラムとして「ひょうごユースecoフォーラムの開催」について記載しました。	p. 72-75	本文4-3-3
17	概要p. 5の「目標に向けた各主体による施策の推進」に関して、 県民と他の主体間との連携を具体化する方法と紐帯の存在とがつかみにくい。	第4章第3節3「(1) 各主体の連携」の①~③に、各主体間の連携を進める方策を記載しています。 第4章第3節3「(1) 各主体の連携」の①に「県・市町間の協議、連携の推進」を追記しました。	p. 72-73 p. 72	本文4-3-3
18	容器包装リサイクル法のプラスチックの回収が非常に少ない。これを上げる方法は何か。他府県を参考に、取組方法を計画の中に記載してほしい。	本文に、一定の効果が確認された西宮市の指定袋制度導入事例を掲載しました。 引き続き参考となる他府県の事例を情報収集してまいります。	p. 74	本文4-3-3
19	概要p. 5の「目標に向けた各主体による施策の推進」の「Ⅲ 各主体の連携、行動変容、人材育成等の推進」の「1 普及啓発、意識醸成」に関して、 県民と地域団体・行政との具体的な連携の事例紹介が望ましい。	第4章第3節3「(2) 普及啓発、意識醸成」の②に行動変容の促進について記載しています。 コラム15では、NPO法人と連携した事例を掲載しています。	p. 74	本文4-3-3
20	概要 p.1 2050年ごろを見据えた資源循環の施策（中期：2030年ごろ） 【各主体の連携、行動変容、人材育成等】（2）ITやナッジの考え方等を取り入れた取り組みのところ ナッジについて「用語解説」29（本編 p. 82）にあるが、申し少し具体的に説明しないとわからない。用語解説か本編のところで具体的に説明する必要がある。	「用語解説」29に追記しました。	p. 82	用語解説

21	いくつかのコラムで、兵庫県の主導事業と勘違いされかねない表現がみうけられる。	コラム中文言修正、主体者がわかるよう整理しました。	各コラム	コラム
22	計画全体について、本計画自体のアピールや目標達成に向けた施策推進において、本計画のガイド的なポータルのな情報発信機能も必要。目的は計画立案ではなく、計画目標達成ですから、是非とも全県民に届く情報発信と啓発をお願いします。	県民に広く届く情報発信と啓発となるよう、HPの作成等、効果的な情報発信機能を検討します。	計画全体	計画全体